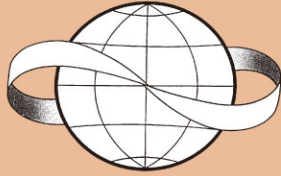


ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第62号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
 理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
 東京都東村山市久米川町1-16-18
 TEL : 042-395-9788
 FAX : 042-395-9787

商標登録第4882482号

古紙流通の国際化への対応は、 地域の健全なリサイクル システムの確立から始めよう

昨年秋頃、業界誌に掲載された中国南京市の古紙リサイクル事情を読み、驚かされた。中国国内での古紙回収率が向上し、今後海外からの古紙輸入量が減少していくことは想定していたが、最近の中国国内古紙の品質が向上し、日本の古紙も品質が悪ければ使わなくなる可能性があるというのだ。

以前は、日本の古紙の品質は非常に良いとされていた。国際的に流通する古紙の主流は米国と欧州が多いが、米国は、シングルストリームと違って、ごみや資源を混合回収してきたものをリサイクル工場で長いコンベアで選別し加工するため、古紙にペットボトル等の他の資源やごみが混入しており、品質はあまり良くない。一方、欧州は、古紙利用率が向上した反面、製紙原料としての歩留まりが悪く品質低下を招いている。このため、品質の良い日本の古紙は重宝されていたのだ。品質が悪いが繊維が長く好まれる米国古紙に対し、日本の古紙の品質が悪いというレッテルを貼られたらもはや太刀打ち出来なくなる。そして、古紙の輸出が止まれば、再び古紙が大余剰

化してしまうことになる。

視察の際も、品質管理について強く言われたが、いったい、日本の古紙は、そこまで品質が低下しているのだろうか？国内メーカーの品質基準は大変厳しく、排出する市民や事業者へ徹底した分別排出をお願いし、それを専門的な知識と目を持った我々のような古紙回収業者がきれいに分別回収し、これを製紙原料問屋が二次選別をかけることで、回収システム全体で古紙の品質を維持してきた。現在国内で回収される古紙の二〜三割程度が輸出されているが、国内ほど品質に関しては厳しく言われて来なかったため、国内よりも緩い品質基準で出荷されていたことは否めない。さらには、最近の円安傾向による国内外の古紙の価格差が古紙問屋同士での過当競争を生み、このことも品質低下の一因になっている。問屋が適正な利幅を確保できなければ、選別工賃が削られることになるからだ。輸出価格が高いのは、国内価格や需給バランスを見ているからである。国内製紙会社が定量購入し、仕入価格を維持しているから安定している輸出価格なのに、輸出を優先して選別コストを削減したら何れしっぺ返しを食らうことになる。

また、回収段階でのコスト削減も品質に影響する。最近では、回収効率を上げるために一台のトラックで古紙三品を混合回収させる自治体もある。問屋で選別をするのだが、分別回収より明らかに選別がおろそかになり、更なる品質低下が危ぶまれる。そもそも、市民に対して、口酸っぱく分別を訴えておきながら、混合で回収してしまうこと自体が大問題である。

また、産業廃棄物業者など異業種からの参入も品質悪化の一因と考えられ、実際中国で見せられた産廃系の古紙問屋から輸出された段ボールは、ミックス古紙や工事現場のごみが混じったもの、何かの粉や汚れの付着したもの等があり、業界団体に加盟して禁忌品や選別に関して連携している我々には考えられない代物であった。

古紙流通の多様化、国際化と長年かけて築き上げてきた古紙の循環システムを無視し、価格面や効率面だけが先行してしまつたら、国内製紙産業低迷やリサイクルシステムの崩壊につながりかねない。古紙回収業者、古紙問屋、製紙メーカーが健全経営を行いながら一体となって品質の高い古紙リサイクルシステムを維持していくことが今後益々必要になる。(吉浦)

リサイクル適性 (A)

直言拝聴

『環境問題と資源回収業とわたし』

札幌市環境保全アドバイザー
有限会社 ひがしリサイクルサービス
代表取締役 東 龍夫



わたしの原点

一九七三年、学生だった私は、熊本県水俣市にあるチッソ水俣工場の正門前に立っていました。同工場が垂れ流した有機水銀による水俣病が、大きな社会問題になっており、現地をこの眼でこの肌で感じたかったです。前日には、南に隣接する鹿児島県出水市の、自らも水俣病の患者である漁師さん家に泊らせてもらいました。漁師さんの重い体験の話を聞きながら、シコタマ芋焼酎を飲まされて、前後不覚になったのを覚えています。わたしが環境問題に関わることになった原点です。

後日知ることになるのですが、出水市は父方の祖父母の出身地でした。親から結婚に反対された二人は、東京へと駆け落ちしたのだそうです。当時水俣に行った時は、鹿児島出身なのは知っていましたが、それが出水市だとは知らなかったのです。それから四十年以上が過ぎた昨年の秋、いろんな偶然が重なり、初めて祖父母の墓参りを果たしました。その時は、出水市のすぐ南に隣接する薩摩川内市を通りました。そこには、福島原発事故後、最初に再稼働を目指している川内原発があり、地元は騒然としている

ました。縁とか運とかは、余り気にしないほうなのですが、やはり「因縁」を感じてしまいました。

資源回収業事始

一九七九年、資源回収業を始めます。当時、「リサイクル」という言葉にはまったく市民権がなく、「リサイクルの仕事をしていませう」というと、「そうですか、自転車(サイクリング)屋さんですか」という答えが返ってきました。「リサイクル」と言う言葉が市民権を持つのに力を発揮したのは、全国各地に出来た「リサイクル運動市民の会」という新しい市民運動だったのでしょうね。今でも、名古屋と沖繩の市民の会とはお付き合いがあります。

リサイクル運動市民の会は、家庭の不要品を持ち寄ったフリーマーケットを活動の中心にしています。わたしは、古紙等の再生資源を市民運動的な手法で回収できないか考えました。それまで「廃品回収」と言われてきた集団資源回収は、それに取組む団体の収益を目的にして来ました。それに対して、「再生資源をリサイクルして天然資源の消費量を減らし、世界の環境と平和を守ろう」と呼びかけたのです。「平和を守ろう」と言

ったのは、ある人の言葉を聞いたからです。「資源回収業者は世界の平和を守るために貢献しています。何故なら、戦争が起きる大きな原因が『資源の奪い合い』だからです。資源をリサイクルすることによってそれを防いでいるのです」と。自治体による資源回収もほとんど取組まれておらず、静岡県沼津市が先進自治体として注目されていきました。井出元沼津市長をお呼びして講演会を開催したことが、私が思い出されます。

「家庭から出るごみを出来る限り資源化したい」という思いで、それまで回収されていなかった、空き缶や使い捨てびん(ガラスくずとして再利用)などの回収にも取組みました。紙パックの回収には北海道で一番先に取組みました。ユニークなのは、既存の町内会などの団体ではなく、主旨に賛同する回収団体が次々に結成されたことです。

持続可能な世界へ

一九九二年、ブラジルのリオデジャネイロで国連史上最大の国際会議が開催されました。テーマは環境問題。「現在のアメリカや日本、ヨーロッパなどの先進工業国での過剰な消費が、地球規模といわれ

る環境問題を引き起こした。我々は子どもや孫の世代と限られた資源を分かち合わなくてはならない。健全な地球環境を残さなくてはならない。現在の浪費型の社会経済システムは持続可能ではない。現在の地球資源の配分は民主的ではない。大量の食糧資源を処理に困るほど大量に廃棄している国がある一方で、飢えに苦しむ多くの人々が存在する。持続可能な社会は、こうした南北問題を解決しないかぎり実現しない」と。世界中から集まった大統領や首相など世界のリーダー、世界の隅々から集まったNGOや市民は、こうした考えに同意しました。わたしも日本から参加した市民団体の一員として、リオデジャネイロで様々な体験をしました。

環境問題を解決するために、世界中の市民に発せられた有名な言葉があります。「スィンク・グロバリー、アクト・ローカリー（地球的に考えて地域で行動しよう）」。「わたしはこの言葉を聞いたとき、正にこのことだな」と、と思いました。

この時の国連ブラジル会議をきっかけに、環境基本法が制定され、循環型社会基本法が日本でも作ら

れました。また、私の住む札幌市でも環境基本条例が制定され、その中の環境保全アドバイザー制度に基づいて、生活環境分野の専門家として環境保全アドバイザーの委嘱を受けています。その制度により、地域団体・市民団体・小学校から大学までの学校で、持続可能な循環型社会や「リサイクルよりリユースを上位におく社会システム」について、市民の方々に話しする機会が度々あります。

お茶の飲み方

かつての「大量生産・大量消費・大量廃棄型社会」から、現在の日本は「大量生産・大量消費」はそのままに、「大量リサイクル社会」に変わりました。

例えば、お茶の飲み方を考えてみましょう。少し前までは、「お茶は、ヤカンで沸かした湯を、お茶の葉を入れた急須に注いで飲むもの」、でした。しかし今や、「お茶はペットボトル入りのものを買ってくる」のが当たり前になっています。ご存知のように、ペットボトルはリサイクルします。わたしの会社でも扱っていて、そのペットボトルは、ポリエステル繊維にリサイクルされて、カーペットになります。でも、出来上がったカ

ーペットは今のところリサイクルされずに、使い終わったら焼却されます。ペットボトルからペットボトルを作る工場が、私の住む北海道にあればまだいいのですが、それもありません。なので、ペットボトルをリサイクルしても石油の大量消費は止まりそうにありません。持続可能な社会にとっては、明らかに急須を使ってお茶を入れるほうが優れているのに、世の中は逆に進んでいます。先日、ある中学校で一〇〇名ほどの中学生に急須の写真を見せました。すると、幾人かの子どもが首をかしげます。それで、「これは急須といえます。知っている人は手を挙げて」と問いかけてました。驚いたことに、半分以上の子どもがもはや急須を知らないのです(！)。

矛盾

さて、わたしはここで大きな矛盾に突き当たります。それは、資源回収業者としての矛盾です。ペットボトルは回収すればいくらかの市場価格で売ることが出来ます。出がらしのお茶の葉っぱは売れません。環境問題にいいことをさらに進めて行くと、仕事が減る(！) ことになります。

さて、どうする？(ここからは、夢

想・妄想にも近くなるのですが、わたしは以下のように考えています。

「皆がペットボトル入りのお茶を飲むのをやめたら、先ずお茶の葉が良く売れるようになる。急須も良く売れる。携帯用のマイボトルも良く売れる。これからの資源回収業者は資源を回収するだけではなく、資源の浪費を抑制するグッズも販売していく」というのはどうでしょうか？

最近読んだ本(「脱・成長神話」武田春人著)にこんなことが書いてありました。

「年収が一万ドルになるまでは、収入の増加と幸福度の実感が一致する。世界中の人が年収一万ドルを達成するために、必要な資源量はどのくらいかという、中国・インド・パキスタン・バン格拉デシュなど6カ国だけで、現在の消費量に加えて、一一八億人分(！)の資源が必要になる。こんなことは現実的なことではない。従って、日本のような先進国は、資源消費量を減らす、減らせないまでも増やさないような、効率的な資源利用を図り、私たちの生活を人間的な豊かさに導いていくことが必要になっている」と。

東京都リサイクル事業協会主催

中国古紙事情視察に参加

去る三月一五〜一八日、中国の上海・南京周辺の古紙事情視察に参加した。東京都資源回収事業協同組合で行った中国視察以来一年ぶりの公式訪問である。現地の視察や旅程を組んでいた、国際紙パルプ商事(株)東日本営業部中道部長始めとする皆様には感謝申し上げます。当組合からは紺野琢生専務理事と吉浦亜矢子青年部員の三名が参加した。

まず、上海から北西におよそ九〇キロの張家港にある税関によるコンテナ内容物検査場を見学した。ちょうど日本古紙を検査しているらしく、三コンテナの段ボール古紙が引き出されて



張家港のコンテナ内容物検査場



不純物の混入の多い段ボール

ならんでいたが、品質は我々から見ても非常に悪く驚いてしまった。紙には間違いないが、セメントが沢山付着している物や、ゴミを入れるクロス袋が混入していたり、非常に汚れている段ボール古紙である。税関による検査は問題ないが、購入した製紙会社の担当者は購入単価基準



懇談会の模様

を格下げにすると、販売商社マンや我々に話していた。港湾見学の後、中華国際儲運江蘇公司張家港分公司の皆様と懇談会があり、張家港の港湾施設の説明や中国の古紙流通に関する説明があり、日本の古紙の品質管理についてお話があった。ここからさらに西に一五〇キロほどの南京市に移動し、スーパーマーケット回収を取り引き先にする古紙問屋を見学した。ここでは、発生元にゴミが少ないせいかとても綺麗な段ボール



南京市の回収拠点(建場)

ル古紙がプレス処理されていた。その後、南京市で市民二五〇世帯に一つ作られている回収拠点を見学した。日本で言う建場の様な施設だ。一〇〇キロぐらいになる小さなプレス機で処理していたが、持ち込む人の品質意識が低いのか分別がされていないかった。此処から持ち込まれる問屋に於いて分別するとの説明を受けた。

この後、江蘇紙聯の皆様との懇談会でも古紙の品質管理について再三お話があった。その後、近く中華料理店にて交流会があり、中国式の歓待を受け、普段は飲めないお酒を浴びるほど頂いた。

翌日、中古紙セミナーでもお世話になった榮成紙業の無錫



無錫榮成紙業にて



べール品の品質について確認中

市にある工場へ。まずは、会議室で古紙品質に関する説明を受けた。内容をざっくり書き記すと、日本の製紙会社と同じで禁忌品として、ビールのマルチパック、スキ色、紙管などが混じると、製品に悪影響がでて、販売競争に負けてしまうので混入しないで欲しい、中国内回収古紙べールには納入先に榮成紙業指定のラベルの貼付を義務付けており、日本品も貼付して欲しい、E U品は品質が悪いので減らしていく、日本の問屋は国内向けと輸出向けを分けて作っていて、品質評価はおちているから、もっと良くしてほしい、五年前迄は日本品と中国国内品は品質差があったが今はない、といったことだった。その後、原



無錫市の江蘇紙聯の古紙ヤード



料古紙のストックヤードを見学し、実際に日本品や中国国内古紙のべール品を見ながら品質に関する説明を受けた。その後、無錫にある江蘇紙聯と蘇州にある榮成紙業の古紙ヤード、翌日には上海の榮成紙業の古紙ヤードと都合三件を見学し、中国国内での回収古紙の選別状況を見学した。二種類に段ボール古紙が分かれていてAクラスは工場やスーパーが主体で品質は非常に良かった。一般の回収古紙は分別が難しいらしくBクラスであった。



蘇州市の榮成紙業の古紙ヤード

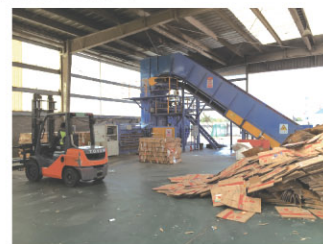


今回の見学で学んだ事は今まで以上に品質に注意する、分別の重要性である。現在、古紙輸出は国内製紙会社には納入が難しい古紙が混入されやすい状況に変化はないが、榮成紙業の様に製品品質を守る為に納入古紙に対して基準を厳しくする製紙会社が増える事を考え、今から品質向上を目指していくべきと思う。品質の悪化が与える影響については、一面で警鐘を鳴らしておいたのでそちらも参照されたい。

(吉浦)



上海の榮成紙業のヤード。左はラベル。



三月一四日(土) 京王聖跡桜ヶ丘のアウラホールで第二回TAMAとことん討論会が開催された。今回は、「もっと減らせるTAMAのごみく食べ物とリデュースのいい関係」というテーマで行われた。

はじめに、事前に応募された、「余った食材や食材を使い切るむだなし料理レシピ」の紹介と表彰が行われた。そのあと、石川雅紀氏(神戸大学教授)による基調講演「食品ロスと包装ごみ」、続いてリレー講演 幸智道氏(ガラスびん3R促進協議会事務局長)「食品容器の「リデュース」ガラスびんの薄肉化と軽量化」、石丸孝祐氏(一般社団法人日本食品包装協会理事長)「食品ロスと包装」が講演された。

私たちの最も身近な、食品を通して、むだを考えること、またペットボトルの普及により押されがちなビン容器を見直す機会となった討論会となった。

(小畑)



TAMAとことん討論会

作業員安全意識向上への取り組み

当組合では、作業員の安全意識向上を図るため、安全講習会と官公需共同受注検査を継続的に実施しております。今年に入り、二月一九日に回収作業員を対象に、三月二八日にリサイクルセンター作業員を対象に、安全講習会を東村山市市民センターにて、また官公需受注検査を三月二五、二六日に行いました。

【安全講習会】

講習会には回収作業員八四人、組合理事等を含め一〇一人が、また来賓として東村山市、東久留米市、西東京市の担当課長の皆様も出席し、講習に先立ち、日頃の行政回収へのお礼と更なる安全意識の向上への期待を込めた挨拶を頂きました。

講習ではスライドを用いて、回収車両に関する事故事例報告、回収作業員の心得と資源回収マニュアルについての要点説明、回収車両の特性と安全な運転方法、交通事故の発生傾向の解説、最後に質疑応答の順に進みました。

回収作業員は常日頃から、安全

意識をもって回収業務にあたっておりますが、今回の講習は、交通量や資源回収量が増加する年度末の三月を目前にしていた事もあり、これまでも増して熱心に講習に臨んでおりました。



回収員安全講習会

リサイクルセンター安全講習会は作業員四〇人、組合理事等を含め六一人が出席し、今回は二部構成で実施しました。第一部は座学形式で最初にスライドを用いて作業員の心得、安全要項と遵守事項の説明、事故事例から学ぶべき点の解説を行いました。

第二部はリサイクルセンター安全講習会では初めてとなる、ヒヤリハットと危険予知に関するグ

ループワーク形式で、担当業務ごとにグループをつくり、日常業務の中で事故になりそうになった出来事、危険予知の心の掛け等を取りまとめ発表しました。新人作業員の頃に事故を起こしそうになった事や、常日頃から安全作業の為に気を付けている事など、活発な発言が相次ぎました。グループごとの発表では、熱心に耳を傾けている光景が見受けられました。



リサイクルセンター安全講習会



【官公需受注検査】

官公需受注検査は官公需規格組合である当組合が業務品質向上を図るため、年四回自主検査として行っております。今春も前述の日程で行政回収車両を対象に行い、大きな問題は無く、終了致しました。また、作業員に対しては、安全講習会で学んだ通り、安全第一で業務に臨む事で業務品質の向上に努める様、改めて依頼致しました。



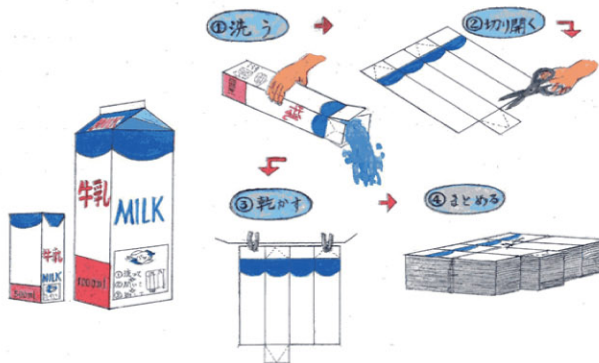
官公需受注検査

この様に当組合では、地域のリサイクルパートナーとして信頼される様、これからも作業員安全講習会の開催や官公需受注検査の実施と、安全意識向上の取り組みを継続して参ります。

● リ サ イ ク ル 掲 示 板 ●

牛乳パックは良質の古紙パルプになる貴重な資源です。例えば、1 $\frac{1}{2}$ の牛乳パックたった6枚を原料にトイレットペーパー1ロールに再生出来ます。でも、他の古紙と混ぜてしまうと禁忌品（ラミネート加工紙なので）になってしまいます。牛乳パックは正しくリサイクルしましょう！


●牛乳パックの正しい出し方 ～洗って、開いて、乾かして、まとめて出そう！～



●組合では、各市イベントに出展して、牛乳パックとトイレットペーパーの交換を行っています

表題の通り、牛乳パック6枚を原料にトイレットペーパー1個を作ることが出来ます。実際のコストを考えると、牛乳パック60枚ないとトイレットペーパー1個と交換することは出来ませんが、牛乳パックリサイクルの重要性を一人でも多くの市民の皆様にお伝えするために6枚で1個交換しています。各市のイベントにお越しの際は、ぜひご自宅の牛乳パックをお持ち頂くとともに、普段回収に出される際は、ルールを守って出して頂きますよう、お願い申し上げます。

牛乳パックは、①リサイクルマー

クを確認し、②中身をすすいで(すすいだ水は草木にあげると排水溝も汚さず、栄養にもなるそうです)、③切り開いて、乾かして、まとめて縛って出しましょう。裏がアルミや茶紙のものは、それだけ別に縛って出しましょう。



小平市リサイクルきゃらばんでの様子

今後の組合の出展するイベントの予定

東多摩再資協では、各市イベントにおいて牛乳パックとトイレットペーパーの交換、使えるけど使わなくなったおもちゃ、ぬいぐるみ、育児用品など小物雑貨の回収、分別ゲームなどを行っています。

- ①小平市ごみゼロフリーマーケット 5月31日(日) 10:00~14:00 小平市役所にて
- ②西東京市環境フェスティバル 5月31日(日) 10:00~15:00 西東京いこいの森公園にて
- ③東大和市環境市民の集い 6月7日(日) 10:00~14:30 東大和市役所にて
※東大和市では、当組合ブースでの牛乳パックの回収は行いません。
- ④東久留米市環境フェスティバル 6月13~14日(土・日) 10:00~ 東久留米市役所にて
- ⑤清瀬市環境・川まつり 7月26日(日) 10:00~15:00 台田運動公園・柳瀬川河川敷にて

※組合が出店するイベントの予定や詳細は、ホームページでも確認できます。

URL <http://www.h-recycle.or.jp> 東多摩再資協で検索

専ら物等廃掃法研究会

去る平成二七年一月二七日(火)、東京しごとセンターで、公益社団法人東京都リサイクル事業協会主催「専ら物等廃掃法研究会」が開催された。集会には、協会加盟団体(事業協同組合関係)、資源リサイクル業関係者、報道関係(新聞社関係)合せて八〇名が参加した。司会は、理事の佐々木義春氏。講師には、東京都環境局資源循環推進部計画課・課長補佐・古澤康夫氏が招かれ、「『廃棄物』の定義などのテーマで講演が行われた。※講演内容を要約すると、

●廃棄物処理法における「廃棄物」とは

当該法律における「廃棄物」とは、ごみ・粗大ごみ・燃え殻・汚泥・糞尿・廃油・廃酸・廃アルカ



講演する
古澤課長補佐

リ・動物の死体その他の汚物又は不要物(放射性物質及びこれによって汚染されたものを除く)である。しかし、他の法律では、「廃棄

物」の定義は、異なっている。例えば、バーゼル法の「特定有害廃棄物等」(バーゼル条約上の「有害廃棄物」は、鉛蓄電池・廃駆除剤・めっき汚泥・廃石綿・シュレツターダストと定義付けている。また、自動車リサイクル法の「使用済自動車」は、使用済自動車から発生するフロン類・エアバッグ・シュレツターダストを自動車製造業者等が引き取り、リサイクルを適正に行うと定義付けている。

他方、「廃棄物」の中の専ら物(専ら再生利用の目的となる一般廃棄物と産業廃棄物)と産業廃棄物の違いは、次の通りとなる。

①古紙、古繊維、空き缶、空き瓶、鉄屑は専ら物。

②ペットボトル、廃プラスチックは産業廃棄物

③電気製品は、プラスチックを原料として作られている部分があるため、産業廃棄物。

④オフィスビル等から、専門業者が回収した廃棄物は専ら物。

⑤印刷所から逆有償で回収した廃棄物は、産業廃棄物。

●いわゆる「総合判断説」
一九九九年三月一〇日の最高裁

の判例では、「廃棄物とは、占有者が『自ら利用し又は他人に有償で譲渡することができないために事

業者にとって不要になった物をいい、これら該当するか否かは、その物の性状、排出の状況、通常の取扱い形態、取引価値の有無及び事業者の意思等を総合的に勘案して決するのが相当」との判断が示されている。また、二〇一三年三月二九日の行政処分指針では、取引価値の有無について、次のように通知されている。「占有者と取引の相手方の間で有償譲渡がなされており、なおかつ客観的に見て当該取引に経済的合理性がある。」

●その外にも
●有価であっても「有価物」とは限らない

●許可を要しない場合
●国の通知

●などの専門的な説明があり
●まとめとして

①有価物は、廃棄物でないものと定義づけられる。

②廃棄物は、処理に当たっては廃棄物処理法の規制を受けるものである。ただし、「専ら物」を専門に取り扱っている回収業者等については、市町村長による業の許可を要しない・排出事業者はマニフェ

ストの交付を要しない等の特例がある。なお、委託基準「廃棄物処理法第六条の二第七項、第十二条

第六項(書面による契約等)等は

適用される。

※最後に
●廃棄物再生事業者とは

「専ら物」とは無関係の規定「廃棄物再生事業者については、廃棄物処理法第二〇条の二に次のように規定されているので紹介する。一、廃棄物の再生を業として営んでいる者は、その事業の用に供する施設及び申請者の能力がその事業を的確に、かつ、継続して行うに足りるものとして環境省令で定める基準に適合するときは、環境省令で定めるところにより、その事業場について、当該事業場の所在地を管轄する都道府県知事の登録を受けることができる。

二、前項の登録に関して必要な事項は、政令で定める。

三、第一項の登録を受けた者でなければ、登録廃棄物再生事業者という名称を用いてはならない。

四、市町村は、第一項の登録を受けた者に対し、当該市町村における一般廃棄物の再生に関して必要な協力を求めることができる。

※以上一時間半にわたって含蓄のある講演を頂いたが、他の法律などのとの関係と、事例の僅かな違いで微妙に解釈の異なることも多く、個々の事例に対して更なる研修の必要を痛感した。

市民ごみ大学セミナー

去る二月二十四日(火曜日)、NPO法人ごみ・環境ビジョン21主催、市民ごみ大学セミナーが国分寺労働会館で開催された。今年度は「見える化」によるごみ減量の推進」として、東洋大学経済学部・山谷修作教授の講演が以下の六テーマにより行われた。



山谷修作教授

一・ごみ見える化

「見える化」とは、取り組み状況や問題点が見えるよう工夫することで、ごみ減量の推進になる。

二・ごみ減量手法としての「見える化」

具体例として、ごみ自体の「見える化」(排出ごみ可視化、事業系ごみの検査・指導)と、ごみ情報の「見える化」(発生抑制や生ごみ自家処理の大切さ、自治体比較情報、資源物としての認識、ごみの処理費や負担の公平性としての有料化)が挙げられる。

排出ごみ可視化とは、透明指定袋化、戸別収集導入、中が見えないダストボックスの廃止である。

事業系ごみの検査・指導とは、清掃工事搬入時検査と、事業系ごみ保管場所立入検査・指導である。

発生抑制や生ごみ自家処理の大切さには、意識的な消費行動、「もったいない」精神の意義の伝達による発生抑制の大切さ、可燃ごみの四割が生ごみとの情報伝達、生ごみ堆肥化や水切りの大切さがある。

自治体比較情報は一定グループの自治体間の成果指標を比較・公開し、自治体ごとのごみ減量・資源化推進の取り組みを強化する。資源物としての認識は、雑誌はリサイクル可能との認識共有、きっかけづくり、分別・資源化への誘因創出による資源化促進が鍵となる。

三・「見える化」「インセンティブ(誘因)」創出手法としてのごみ有料化

有料化でコストを「見える化」し、「インセンティブ」を創出する意義は、減量・リサイクル推進への誘因提供、負担の公平性確保、ごみ問題・適性排出への高い関心づくり、ごみ処理効率化である。

家庭ごみ有料化による減量効果として、二〇〇〇年度以降、有料化導入自治体の減量効果を平均すると、実施後も持続しており、手数料水準が高いほど、減量効果は大きくなる傾向がある。

また、事業系ごみ処理手数料は、実際の処理コストに見合うのが基本原則で、実際の処理コストと処理手数料の開差は税金負担、合理的な手数料設定ルールの構築による処理コストの「見える化」が必要である。

四・ごみ減量のトップランナーとしての多摩地域

家庭ごみ有料化を全三〇市町村の内、二五市町で実施しており、有料化により驚異的な減量効果が見られた。多摩地域のごみ排出量は全国平均より少なく、一方でリサイクル率は全国平均より高く、「見える化」の成果が顕著である。

五・ごみ減量目標の「見える化」としてのゼロウェイスト(焼却・埋立ゼロ)戦略

ゼロウェイスト戦略には、ごみ焼却の否定、挑戦的減量・リサイクル目標設定、資源化推進徹底、生産者へのクリーンプロダクション(使用后、ごみにしかならない

原料の使用や、製品生産はしない)の要求がある。取り組みでは地域志向、低コスト、低環境負荷、伝統技術活用が重視され、経済的誘因も活用される。

六・今ごみ減量の重要性を再認識する

現在、大きなごみ減量成果と3R意識が高まっているが、更なる3Rの推進力としての「見える化」が必要である。環境負荷軽減、希少資源の有効利用、最終処分場延命化、焼却施設への対応、ごみ処理経費削減により、「見える化」重視の地域ごみ減量戦略構築により、世界のトップランナーを目指す。

参加者は皆、熱心に講演に聞き入っており、講演は好評のうちは無事終了した。





富岡製糸場外観

去る平成二十七年三月二十九日、当組合は群馬県富岡市にある「富岡製糸場」の見学を行いました。「国際連合教育科学文化機関」通称「ユネスコ」が昨年六月に世界文化遺産に認定した施設です。現在、世界遺産は日本には文化遺産が一四カ所、自然遺産が四カ所認定されています。

昨年認定されたばかりの施設だけに、見学前には大混雑を予想していました。ボランティアの方が案内について下さり快適に見学することができました。

同工場は明治五年、日本の近代化のためにフランス人ポール・ブ

富岡製糸場を見学しました



富岡製糸場内部

リュナの指導のもと建設されたもので、我が国唯一の輸出品である良質な生糸生産に多大な貢献をしたそうです。

特に興味深かったのは建物で、木の骨組みと煉瓦の壁で「木骨煉瓦造」、セメントの代わりに漆喰、屋根は日本瓦と和洋の建築技術を見事に融合していました。

さらに製糸場で働いていた工女は全国の土族の娘などが集められ、雇用待遇や厚生施設なども予想以上に整っていたとのことでした。

その外にも、まさに貴重な歴史の宝庫であり、大切な遺産を未来にしっかりと残して行かなければと痛感いたしました。(福田)

広がるGPS追跡調査

古紙持ち去り撲滅のため、各地でGPS追跡調査が行われており、持ち去られた古紙の流れを探知し、買い取り業者の特定に至ることで威力を発揮している。

昨年一二月二五日、二三特別区の内、一八区と関東製紙原料直納商工組合、日本製紙連合会、東京都資源回収事業協同組合との間で古紙持ち去り根絶に取り組み覚書が交わされた。この中にはGPS追跡調査の実施が含まれている。特別区でのGPS追跡調査実施は古紙持ち去り撲滅に向けて大きな前進となる。

同じ都内でも多摩地区は自治体によつては、特別区よりも先にGPS追跡調査が開始されている。その中で、当組合は一昨年活動区域内各市で相次いでGPS追跡調査を開始している。これは多摩地区でもかなり早くからの開始となっている。

当組合は今後も引き続きGPS追跡調査を行い、各自自治体や関係団体と協力して、未だに後を絶たない古紙持ち去り撲滅に向けて取り組んでいく。

古紙持ち去り撲滅に向けて GPS追跡調査実施中

持ち去り業者を目撃しましたら、
当組合までご連絡お願い申し上げます。

電話 (042) 395-9788

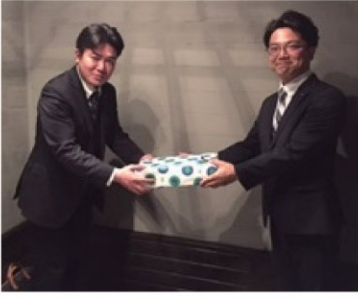
FAX (042) 395-9787

第二三回青年部総会

去る四月二十五日(土)、第一三回青年部総会が開催された。

司会の水野副部長の挨拶で開会した。初めに福田青年部長より、部長挨拶を行った。議長に指名された紺野部員の議事進行の下、平成二六年度活動報告監査報告及び平成二七年度活動方針案・予算案を慎重審議ののち満場一致を持って可決された。

第五号議案その他の件にて、福田部長より、自身の青年部定年に伴う役員改選が上程された。福田部長は、水野副部長を部長に推薦した。審議の結果満場一致で承認され本総会をもって新部長に水野副部長が就任した。新部長挨拶の後、理事長挨拶をいただき懇親会が行われ、御参加いただいた理事との懇親を深めた。



福田前部長(左)と水野新部長(右)

新青年部長挨拶

この度、第一三回青年部総会にて東多摩再資源協青年部第四代部長を拝命いたしました水野です。前任の福田青年部長が六年にわたり守り育て上げてきた青年部を引き継ぐのは身の引き締まる思いがいたします。

私は平成一六年にこの東多摩再資源協青年部に入部しました。この年は、当時理事長を務められていた紺野常任顧問が、日資連会長に就任された年でもありました。資源業界に入ったばかりの私は、右も左もわからず、目の前を走る諸先輩方の背中に必死に追いつこうとがむしやらになっていたことを思い出します。これまで数多くの業界関連団体に顔を出させていただき、自由に発言させてもらい、多くを学ばせていただきました。その経験を生かし、リサイクル業界の発展に寄与できれば幸いです。

なにぶん初めての部長職です。前任の部長には遠く及びませんが、力の限り頑張つてゆく決意です。以上をもちまして就任のあいさつとさせていただきます。

J.P.資源東村山事業所 退任・新任挨拶

【佐藤義昭・前所長】



J.P.資源・佐藤義昭です。この度、慣れ親しんだ、東村山事業所から四月一日を持って栃木県の小山事業所に転勤することになりました。それに伴い、東多摩再資源化事業協同組合理事を退任することになり、期間中にお世話になった皆様に御礼を申し上げます。

短い間ではありましたが有意義で楽しい二年半となりました。その間にはいろいろなことがありました。東村山市では、行政回収の戸別化があり何回もの打ち合わせを行い、市民サービスの低下にならないようにがんばったつもりです。また、このヴィーナス通信の編集作業にも携わりました。東村山市内には魅力あふれる場所がたくさんあることを再発見しました。この武蔵野

の地が今後も素敵な街であるために、市民のみなさんの協力の中「東多摩再資源化事業協同組合」がより市民に喜ばれるリサイクル事業を行うことと思いません。二年半の間、ありがとうございました。(栃木も東多摩に負けないようがんばっぺ)

【栗原智恒・所長代理】



この度、新しく東多摩再資源化事業協同組合に参加させて頂く事になりました、J.P.資源の栗原智恒です。

まだまだ分からない事ばかりではありますが、これから少しずつ勉強して、地域リサイクルの良きパートナーである当組合に、少しでも役に立てるように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



行事・行動

【平成二十七年二月】

- 五日：東村山市業務委託打合せ
- 六日：小平RC責任者会議
- 東久留米市業務委託打合せ
- 七日：東資協新年会
- 九日：東資協理事会
- 一〇日：青年部会議
- 一日：財務委員会
- 定例理事会
- 一二日：東久留米市業務委託打合せ
- 東リ協会回収システム調査会
- 一三日：東久留米市・西東京市業務委託打合せ
- 一七日：東村山市戸別収集打合せ
- 東久留米市業務委託打合せ
- 一八日：東村山市環境標語表彰式
- 青年部会議
- 一九日：東村山市業務委託打合せ
- 行政回収作業員安全講習会
- 二〇日：各市業務委託打合せ
- 二四日：ごみ環境ビジョン21講演会
- 二七日：日資連小型家電講演会
- 【三月】
- 二日：東村山市・東久留米市業務委託打合せ
- 四日：青年部会議
- 六日：小平RC責任者会議

九日：東久留米市業務委託打合せ

一日：定例理事会

一三日：東リ協会理事会・回収システム調査会

一四日：TAMAとことん討論会

一七日：小平市ごみ減量実行委員会全体会

二〇日：清瀬市GPS追跡調査

二三日：東村山市GPS追跡調査業務委員会

二四日：東村山市行政回収共同受注検査（二六日まで）

二五日：東村山市回収業者連絡会議

二六日：小平市リサイクルきやらばん

二八日：リサイクルセンター安全講習会

三一日：東村山市委託業務打合せ

【四月】

六日：新年度挨拶回り

一〇日：小平RC責任者会議

一七日：財務委員会

二一日：小平市ごみ減量実行委員会全体会

二二日：東村山市戸別収集打合せ

二三日：業務委員会

二五日：青年部総会

二八日：東リ協会理事会・回収シ

二九日：青年部会議

【五月】

六日：財務委員会

七日：会計監査

一日：定例理事会

二日：東リ協会情報交換会

五日：通常総会

六日：日資連総会

一八日：西東京市受託業者会議

二〇日：青年部会議

二三日：東資協総会

二六日：東リ協会総会・マイナビ制度研修会

二七日：東村山市業者連絡会議

三一日：東村山市集団回収団体連絡会

西東京市環境フェスティバル

小平市ごみゼロフリーマーケット

トイレットペーパー

「フーメラン」
(65m巻き・100個入り)

1ケース3,200円

(消費税・配達料込み)です。

ご注文は当組合まで
お願いします。

TEL : 042-395-9788

FAX : 042-395-9787

編集後記

ご寄稿頂きました、札幌市資源リサイクル事業協同組合の東理事長様、ありがとうございます。当組合の札幌視察の際にもお世話になり、六月には、日資連全国大会札幌大会でまたお世話になりました。東さんは、いい意味で業界の人らしくない面白い感性の持ち主です。これからも共に業界に新しい風を吹かせていきたいと思っておりますので宜しくご指導ご鞭撻の程、お願い致します。

さて、今回私も中国視察に行つてまいりました。とにかく、品質管理について、見て、聞いて、学んできた感じでした。日本の古紙の品質はそんなに悪くない！とよっぽど言いたかったのですが、全体を見ると品質にばらつきがあるのかということも感じざるを得ませんでした。一面に書いて頂いたようにいろいろ問題はありますが、まずは、紙ごみとか、資源ごみとかいう言葉を無くしていきませんか？古紙は貴重な資源であり、国際商品です。ごみの輸出はパーゼル条約で禁止されています。私たちが扱っているのは『資源』です。資源は正しく分けて、正しいルートで正しくリサイクルしましょう。宜しく願います (TKO)